



2023年度

藍畑だより

第16号

2023.9.15(金)

発行責任者 上萩琴美

「藍畑ド根性ヘチマ」のように

最近では、4年生の理科の学習用にヒョウタンを育てていますが、以前はどの学校でもヘチマが見られました。ヘチマの本来の名前は、果実から繊維が取れることから「系瓜(いとうり)」といい、鹿児島県などでは食用として親しまれています。(出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』)

8月末、本校職員玄関前の花壇で、ここ数年植えていないヘチマが突然芽を出して成長し、現在大きな実を实らせています。支柱などなくても、つる性植物の特性を生かして自らを支えてくれる物を見つけ、「ド根性ヘチマ」として存在感をアピールしています。



二期の始業式、子どもたちに、①自分からすすんであいさつすること、②何でもおうちの人や先生に頼らないこと、③途中で諦めないで、最後まで頑張ることをお願いしました。本校に現れた「藍畑ド根性ヘチマ」のように、自分で進むべき方向を見つけ、這いつくばってでも逞しく生き抜く力の基礎となる精神的強さを身につけるよう、保護者のみなさまと一緒に子どもたちを応援したいと思います。

ちなみに、前述の『ウィキペディア』によると、和名ヘチマの由来は、一説にはイトウリが後に縮まって「とうり(と瓜)」と転訛し、「と」は『いろは歌』で「へ」と「ち」の間にあることから「へち間」の意で「へちま」と呼ばれるようになったのだそうです。また、沖縄では「ナーベラー」と呼ばれますが、これは果実の繊維を鍋洗い(なべあらい)に用いたことに由来するそうです。ふとしたことをきっかけに、知ることは多いなと感じる毎日です。

【「心の健康アンケート」実施】9月4日(月)・5日(火)

令和4年度の児童生徒の自死数が514人と過去最多となり、国は今年6月2日に「こどもの自殺対策緊急強化プラン」をとりまとめました。

毎年、夏休みが終わる8月末から9月にかけて子どもの自殺が多い傾向にあり、9月10日～16日が令和5年度自殺予防週間となっています。

本校では、それに先駆けて「心の健康アンケート」を実施し、「悩みがある」と回答した児童には、担任からの聞き取りを行いました。その結果、悩みはないと回答した児童がほとんどで、深刻度が高いと判断する事案もありませんでした。これからも、子どもたちの心に寄り添って教育にあたります。



【避難訓練(地震)】9月12日(火)



先週6日(水)に予定していた避難訓練ですが、大雨の予報が出ていたため、延期して実施しました。

放送が流れると、教室にいる児童は机の下にもぐって頭を守り、運動場にいる児童は真ん中の安全な場所ですぐしゃがんで指示を待ちました。

普段から訓練することはもちろん、家でも避難場所・避難経路について話し合ったり、避難持ち出し袋の準備をしたりして備えること、正しい情報を選ぶ力をつけることの大切さについて確認しました。

8/17「教育文化講演会」から

前号で触れた「名西郡教育文化講演会」の講演テーマは、『神山まるごと高専の挑戦—人口5000人の町から新しい教育をつくる—』です。

神山まるごと高専が求める学生像は、「学習力」のある人だそうです。様々なことに興味・関心をもち、情報を適切に処理する力や、多様な価値観を受け入れ、自分の意見を的確に伝える力を備えた人材の育成を目指しています。

急激なテクノロジーの進化に対応できるよう、入試もこれまでの学力重視からマッチング重視へと変わっており、これからの社会に生きる子どもたちに付けるべき力を再考する機会となりました。



藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』—自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成—

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「は」 はげましあって がんばる子

「い」 いじめをしない やさしい子

「た」 たくましい子